

■活動の名称 神田錦町「ご縁日」2025 ～錦に恋して～

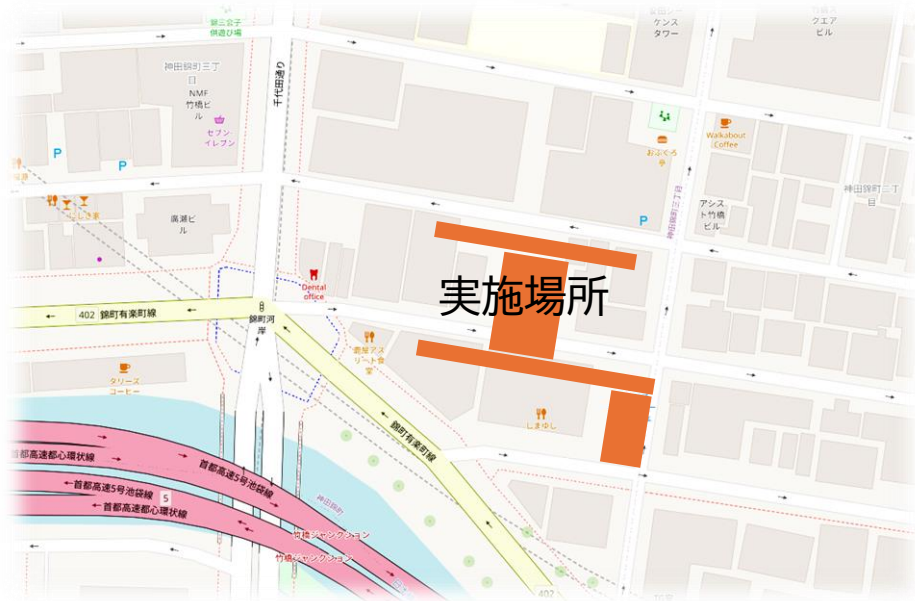
1:基本情報

①主催者

神田錦町「ご縁日」実行委員会（錦町一丁目町会、神田錦町二丁目町会、錦町三丁目町会、錦町三丁目第一町会、安田不動産株式会社、一般社団法人つむぎやさん）

②実施場所(エリア)

道路(2道路)&駐車場&ちよだプラットフォームスクウェア広場(千代田区神田錦町 3-21 および 15)



©Open StreetMap contributors

③企画から実施までの活動の流れ(活動に必要な申請書関係含む)

【企画検討】

5月末:実行委員会発足、企画趣旨・方向性・会場の検討

6月:コンテンツ構成案作成、関係団体・企業への協力打診、実行委員会MTG

*事務局会議 2週間に1回程度、関係者&地域との調整:随時

【準備】

7月:関係機関(千代田区、警察署、消防署)との協議・調整、備品・レンタル品確保

お祝い&綱引き参加者募集、実行委員会MTG

8月上旬:各種手続き(道路占用・使用許可申請・消防・保健所等)

チラシ制作、定例会、各種制作物(半纏・シール・チラシなど)・備品レンタル品確定

下旬:チラシ入稿、綱引きイベント、お祝い参加者締め切り、実行委員会MTG

9月上旬:チラシ配布、各種手続き完了(道路占用・使用許可申請・消防・保健所等)

中旬:各種サイトやサインージ配信、関係者最終うちあわせ、実行委員会MTG

*事務局会議1週間に1回程度、関係者&地域との調整:ほぼ毎日

【活動実施】

9月26日:9時~15時まで設営、16時~21時 イベント開催

【振り返り】

10月:関係者お礼、アンケートや写真の収集、事務局ふりかえり

11月:報告書作成(報告書および動画制作) 12月:振り返り会(今後にむけて)本年度の実行委員会MTG終了

④活動の内容

内容

①みんなで祝い

「入学・卒業・優勝・還暦・百歳・周年・引っ越し・東京代表・結婚など、錦上花を添えよう！」× 三味線、鏡開き

②スポーツで交流

「チーム対抗！綱引き大会&プレイバント(抽選会、講習会)」

「NEW スポーツ(モルック・ボッチャ・ディスコン等)」「キックボクシングミット打ち体験」

③錦町屋台村

「神田の錦町界隈の飲食店が集まる！」「あそび屋台」

④わくわくエンタメ

「中学生・高校生 吹奏楽&ソングリーダー」「パンダ妙珍パレード&占い」「まちかど消防車@神田消防」

「大抽選会@ご縁を配る」「けん玉で交流」

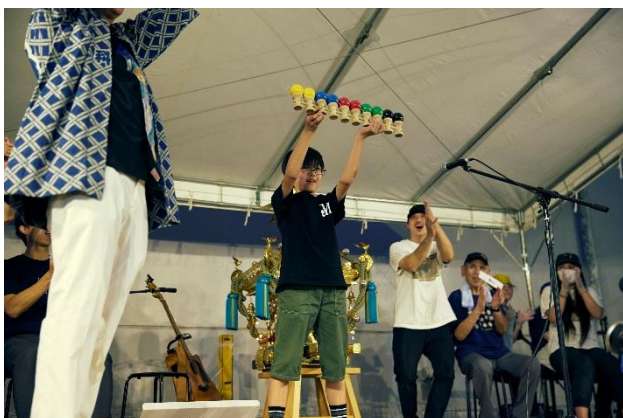
⑤我が町の大縁会

「お神輿&半纏の展示」「新旧住民交流会×お茶ふるまい」「ご縁日ソング&2 番歌詞を大募集」

◆参加者数 1100 名 (在住・在勤・在学者 等)



○オープニング&お祝いの様子



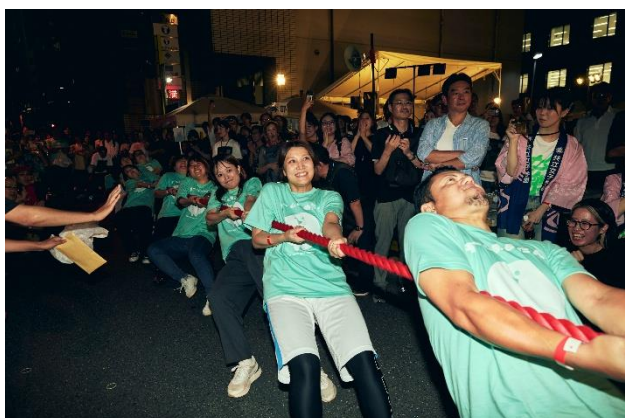
○お祝い&吹奏楽・ソングリーダー&遊び屋台の様子



○飲食屋台&各種スポーツ&ご縁日ソング2番募集の様子



○綱引き大会の様子



○大抽選会&閉会式の様子



2:活動の実施の仕方

① 活動の実施体制

【主催】

主催:神田錦町「ご縁日」実行委員会 [錦町一丁目町会、神田錦町二丁目町会、錦町三丁目町会、
錦町三丁目第一町会、安田不動産(株)、(一社)つむぎやさん]

特別協賛:安田不動産(株) 後援:千代田区

協賛:Iris Pharma あけぼの薬局 神田店、(株)カワサキライフコーポレーション、(株)ジーンズホールディングス、
(株)IAO 竹田設計、(株)日建設計総合研究所、(株)エコロミ、(株)オオバ、(株)女将塾、学士会館、川重商事(株)、三
洋貿易(株)、(株)精興社、(株)日立ビルシステム、(株)ビューン、(株)BlueMeme、丸紅トレードマネジメント(株)、丸
紅ロジスティクス(株)、みずほ信用保証(株)、アイロボットジャパン合同会社、(株)三養ジャパン、(株)豊島屋本店

協力: Akiba.TV(株)、アスシヨク、Walkabout、カレーハウス「ボルツ」、神田消防署、神田でパンダ、神田一橋中学
校吹奏楽部、喫茶プペ、錦城学園、GOOD MORNINIG CAFÉ、CLOVER CLUB、サウナラボ神田、就労支援事業
所諏訪ひまわり、(株)TeaRoom、廣瀬與兵衛商店、プラットフォームサービス(株)、(株)BODY BASIC、(株)ほぼ
日、まちみらい千代田、結ぶ食房しまゆし、(株)ゆかい、LYFE *コンテンツ提供&屋台等の協力

② 活動の収支状況

【収入合計:30万円】

千代田区活動支援金:30万円

【支出合計:30万円】

会場設営費用:30万円

※人件費や保険代、各コンテンツの経費は自己負担(上記金額には含まれない)

③ 広報活動の内容

- ・区広報誌への掲載
- ・近隣町会へのチラシ配布
- ・千代田区の広報掲示版へのポスターの貼り付け
- ・神田錦町のお店や企業などへのポスターの貼り付け、デジタルサイネージ
- ・千代田区 HP での周知
- ・千代田区 Facebook での周知
- ・主催団体 HP での周知
- ・プレスリリース(PRTIMES)による告知

3: 今後の活動の展望

① 今回の活動を通じて実現した「地域課題の解決」、「新たな価値の創造」

本事業を通じて、神田錦町における「在住・在勤・在学者の交流不足」という地域課題に対し、立場や世代を越えて自然につながる場を創出することができた。道路や広場といった公共空間を活用した「ご縁日」は、日常では交わる機会の少ない人々が、祝いやスポーツ、食、音楽といった共通体験を通じて顔の見える関係を築く契機となった。

また、町会・企業・NPO・学校・市民団体等が横断的に関わるしくみを採用したことで、従来の町会行事にとどまらない新しい地域イベントのモデルを提示できた点も大きな成果である。特に、綱引き大会やオリジナルソング制作など「参加型・共創型」の企画は、来場者が“担い手”として関わる意識を生み、地域への愛着や誇りの醸成につながった。

このように本活動は、単発のイベントにとどまらず、地域資源を再編集し、人と人、人とまちを結び直す新たな価値を創造する取り組みとなった。

② 活動を進める上での課題や苦労したこと

活動を進めるにあたっては、複数の道路・広場を活用することによる行政・警察・消防との調整、協賛企業や協力団体との役割分担の整理など、準備段階での調整業務に多くの時間と労力を要した。

また、参加者数の増加に伴い、当日の動線管理や安全管理、情報共有の難しさも顕在化した。

多様な立場の参加者が集まるからこそ、共通理解の形成や事前の周知方法について、さらなる工夫が必要であることを認識した。

③: ①や②を踏まえた今後の活動に向けた方針

今後は、今回得られた知見を活かし、運営体制や準備プロセスの整理・標準化を進めることで、関わる人の負担を軽減しつつ、継続可能な仕組みづくりを目指す。具体的には、役割分担の明確化やマニュアル整備、デジタルツールの活用による情報共有の効率化を図りたい。

来年度は、「ご縁日ソング」2 番の完成と発表を目指すとともに、綱引き大会への参加企業を 50 団体規模へと拡大し、より多くの企業・団体が地域と関わる入口を広げていく方針である。

また、年 1 回の「神田錦町ご縁日」を継続開催するとともに、町会行事や地域イベントとも連携し、日常的な交流機会の創出につなげていきたい。さらに本取り組みを起点として、神田錦町の再開発やまちづくりと連動したエリアマネジメント的活動へと発展させ、公共空間の利活用、地域の魅力発信、企業ネットワークの形成、防災・子育て支援・高齢者見守りなど、まちの多様な課題解決に寄与する活動を広げていく。

加えて、地域内外の大学やクリエイター、スタートアップ企業とも協力し、社会実験的な取り組みを重ねながら、神田錦町が「歩きたくなるまち」「集いたくなるまち」として進化していくことを目指す。そして「ご縁日」をきっかけに、住む人・働く人・学ぶ人それぞれが主体的に関わり続けられる、まちのハブとして育てていきたい。